

社協仲間の仕事ぶりをご紹介します!! 大山町社協 山崎宏樹 さん

名和支所 福祉総務課 課長補佐

プロフィールを教えてください?

製造業やブライダル業界等、様々な業種を経験後、介護の仕事に興味を持ち、新たなチャレンジとして県内のデイサービスセンターに転職しました。しかし、ある利用者の介護度が上がった時に、「利用できるサービスが増える」と喜ぶ生活相談員と家族の姿を見て、「介護度が上がってしまったのになぜ喜んでいるんだろう」と違和感を覚えたことが忘れられません。

利用者本人の気持ちに沿った「個別支援」に携わりたいという想いが募り始め、ホームヘルパーの募集をしていた大山町社協に入職しました。

入職後はホームヘルパーやケアマネを経験し、現在は生活困窮者支援や生活支援コーディネーター業務等を担当しています。

力を入れているお仕事は何ですか?

力を入れている根っこの部分にあるのは今も「個別支援」です。大山町社協では高齢者世帯等に防災グッズ・非常食を配布します。民生委員さんや福祉推進員さん等がピックアップした対象者に配布していますが、配布後も対象者の状況に応じて定期的に訪問を行い、配りっぱなしで関係が途切れない工夫をしています。

町内には地域自主組織やNPO主催の通いの場等はいくつかありますが、「山間地で移動手段が無い」「人が集う場所は好ま



ない」といった通いの場に来られない方もいらっしゃる、チームとしてどうフォーカスしていくべきかが重要と考えます。

以前は訪問するだけで関係機関等との情報共有も十分ではありませんでした。限られたリソースで対応する工夫が必要で、ケアマネさんやケースワーカーさんが関わってる場合は、そこにとりあえずお任せをし、「何も繋がってない方に関わっていくのが社協の役割じゃないかな」という思いで仕事をしています。

事務所の隣が町の福祉介護課で連携が取りやすく、社協の個別訪問も認知され始めました。「心配な人がいるが役場からアプローチしにくい方なのでお願いできないか」という依頼があれば、まず、社協が個別訪問をしてそこから行政に繋ぐ。そういう連携が取れ始めています。こちらが訪問して「精神疾患があるのかな」、「専門機関に繋いだ方がよいのかな」というケースがあれば、関係機関に情報提供して一緒に訪問することもあります。事業や組織で区別せず連携しながら進めています。

心掛けていることはありますか?

「その価値はあるのか」「何のためにやっているのか」ということは常に意識するようにしています。

例えばサロン活動に関して「サロンの活動を推進していきましょう。年間100件訪問しましょう。」と目標があったとします。



定期的に開催しているサロンだけを回って100件の訪問を達成したとしても、本来の意義はそうじゃないですよね。サロンをしていないところへどのようにアプローチしていくのか、出向いて来られない方へどう対応していくのが重要です。

事業ありきで考えず、真に必要とされるニーズを追い求める意識を持つことを大切にしています。

わたしに必要な「コレ」

数年前から「魚釣り」を始め、ハマるとのめり込むタイプなので、朝からあられが降るような時でも休みのたびに釣りに出掛けています。キス釣り用の仕掛けに約40センチのカレイが掛かったことがありましたが、糸が切れて取り逃がしてしまいました。「必ず釣り上げる」と心に火がつき、カレイ専用の仕掛けと網まで用意し、それから2ヶ月挑戦し続け、ようやくターゲットである大物のカレイを釣りあげることができました。

仕事にも趣味にも手を抜かない山崎さんらしいエピソードでした

地域のお宝発見！！

「月替わり幹事のメンズクラブ」鳥取市若葉台

創設から18年続く実績

公民館活動の拡大を検討されていた当時、定年退職後の「男性の集いの場」を作ろうと平成17年4月「若葉台メンズクラブ」は創設され、若葉台地区に暮らす60歳以上の男性だけの会員で現在も活動中です。

「親睦を図りながら、身近に気楽に学び、健康を目指し、明るく楽しく活動する」ことを目的に、会員の自主的な活動として継続されています。



創設から18年続く活動の秘訣について会長の金児利明さんと副会長の谷川静美さんからお話を伺いました。

コロナ禍で中止は2回

メンズクラブの活動は、軽スポーツや学習会といった「健康づくり」、料理教室や作品作りといった「交流会」などを月ごとに内容を代えながら開催されています。

特に、近年は「指先を使うものづくりが認知症予防にもなる」と、健康を意識した交流事業にも力を入られています。

新型コロナウイルスの感染が広がり、地域活動を取り止める団体やサークルが多いなか、メンズクラブがこの2年半の間で活動を中止したのはわずか2回だけでした。

事前に体調管理に関する問診票を会員に配布し、それぞれが入念な感染対策を講じられており、積極的に地域活動へ取り組む姿が窺えました。

メンバー全員に役割がある

毎月の行事は月替わりの幹事2名(主幹事・副幹事)が担当し、幹事は企画・運営を任せられます。幹事は持ち回りで担当するため、全員が運営面で関わりを持つ仕掛けがあります。

毎月担当する幹事のうちパソコン操作が出来る方を必ず1名(主幹事)は配置されており、幹事を担当する方の負担感を取り除く工夫がされています。

また、メンズクラブには役員が選任されており、年度の前・後期に運営会議を開催し幹事とともに年間の大枠を決定します。

運営会議後も役員が、月替わりで企画・運営する幹事の良き相談相手としてフォローする仕組みもあります。

「幹事の担当が近づく不安もあったが無事に行事が終わりほっとした」と振り返る幹事もいらつしやるようで、「達成感を味わえる素晴らしい活動です」と金児会長は役割を果たすことの大切さを強調されました。

社協ワーカー向け「情報BOX」

NHK地域づくり情報が満載！！

暮らしやすい地域をつくるヒントが満載！！

およそ700本の全国各地における地域づくりに関する動画・記事を無料検索・閲覧できます。

地域活動を育むアイデアがここに！！

「NHK地域づくりアーカイブス」

<https://www.nhk.or.jp/chiiki/>



「CORE(コア)」とは「芯、核心」などの意味を持つ英単語です。

地域で活躍する社協職員や特徴ある地域活動等の内側にフォーカスした内容をお届けします。